

平成30年度 労働創造委員会
＜活動報告＞



< 労働創造委員会とは >

“労働意欲や創造意欲を高める取組み”とは何か？
何のためにどのように行うのか？実践に照し合わせて
検証していくことを目的として活動する組織である。

< 3カ年計画の最終年度・創造委員会との統合 >

今年度は「食べること」をテーマにして“労働意欲を
高める取組み”をどのようにして具現化するかを試みる
3カ年計画の最終年度である。加えて創造委員会との統合
による創造意欲を高めることも新たな活動目的となった。

<1年目と2年目の活動>

1年目は「食べる」に関するビデオ撮影や職員が「食べる」をどのように捉えているかアンケート調査を行った。

- ➡「食べる」を楽しみにしている 「食べ➡」に工夫を加える
- ➡「食べる」を通して他者との関係構築をする 他者➡共に労働的視点を加える。

2年目は1年目を受けて“おやつタイム”に楽しみ、遊びの工夫をする。

- ➡みんなで畑仕事や調理の労働をする 他➡者との関係を構築する実践

<3年目(今年度が最終年度)の3つの活動テーマ>

- ① 「食べる」を“労働意欲を高める取組み”として実践すること
- ② 取組みを通して“労働的視点”の大切さを確認すること
- ③ 「食べる」以外の活動にも“労働的視点”を加える重要性を確認すること

<今年度の具体的取組み>

*生活介護

- ① 作付け(夏・冬野菜)計画等のスケジュール実行
- ② 物観察のまとめ
- ③ 調理して楽しく食べる
- ④ まとめをする

＜生活介護の取組みの様子＞

* 夏野菜を主体とした活動



* 冬野菜を主体とした活動



<原田デイ・今泉デイの具体的取組み>

- ①作付け(夏・冬野菜)計画などスケジュールを実行
- ②収穫・調理
- ③まとめをする。



<原田デイの取組みの様子>

*夏野菜を主体とした活動



* 冬野菜を主体とした活動



<今泉デイの取組みの様子>

* 夏野菜を主体とした活動



* 冬野菜を主体とした活動



<創造意欲を高める活動の様子>

*今年は労働との関わり→畑で収穫(労働)したイモ→イモ版画の創作へイモ版画の創作へ
3事業所共通テーマ『喜び』 → 感謝祭での発表→評価

<3事業所の取組みの様子> 生活介護



原田デイ



今泉デイ



<感謝祭での展示発表と評価投票の様子>



< 3カ年計画最終年度 3つの活動総括 >

- ① 「食べる」を“労働意欲を高める取組み”として実践すること。
 - * 3事業所とも。夏野菜及び冬野菜を主体とした活動を通して楽しみや、喜びを引き出しそれを実現させるために支援、指導をして“労働意欲を高める取組み”を実践できていた。

- ② その取組みを通して“労働的視点”の大切さを確認すること。
 - * “労働的視点”を加えての支援、指導により利用者たちの楽しみや喜び感謝のことばや態度に触れて、大切さを確認できている。

- ③ 「食べる」以外の活動にも“労働的視点”を加える重要性を確認すること。
 - * 生活介護はもとより「食べる」以外で常にグループ活動及び個別活動にその視点での日々の活動をして、それが大切であることを学んだ。デイの指導員たちは、それが事業所の柱であることを自覚し、その重要性を確認している。

<創造意欲を高める取組みの総括>

◎イモ版作品制作活動

*原田デイと今泉デイは準備や片付けも個別計画の範囲とし、労働的視点も考慮した活動となった。グループ活動の一環として活動ができた。3事業所とも楽しく取組み、魅力的な作品を完成させた。

*来年度は事業所の柱である『労働意欲・創造意欲の向上』を基に、特に創造意欲を高める取組みを主体として、3事業所とも前期・後期での作品造りに力を入れていきたい。